CHUBU

取扱説明書（保証書付）

型式　ＤＹ−３３ＮＡ
　　ＤＹ−３３ＰＡ

Ｉ Ｈ回転炒め機

●安全に正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

●十分に理解されるまでお使いにならないでください。

●この取扱説明書はすぐに取り出せるように大切に保存してください。

●この取扱説明書で「警告」は守らないと重大な人身事故の可能性があることを示し「注意」は守らないと中程度、または軽傷の人身事故の可能性があることを示します。

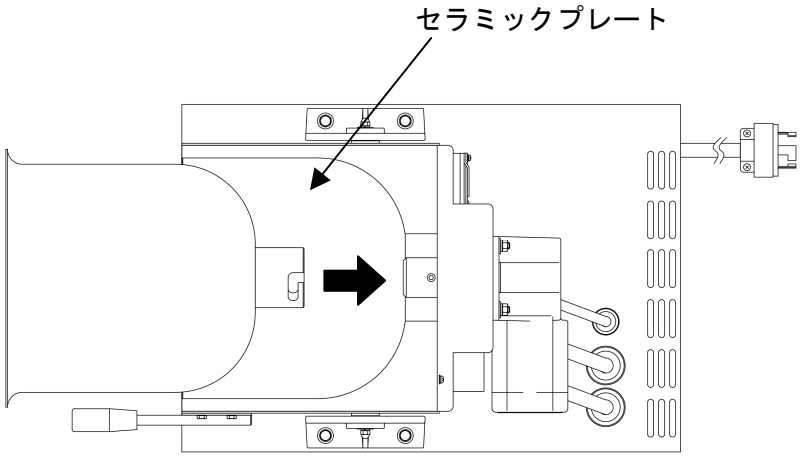
●仕様および外観は性能向上のため予告なく変更する場合があります。

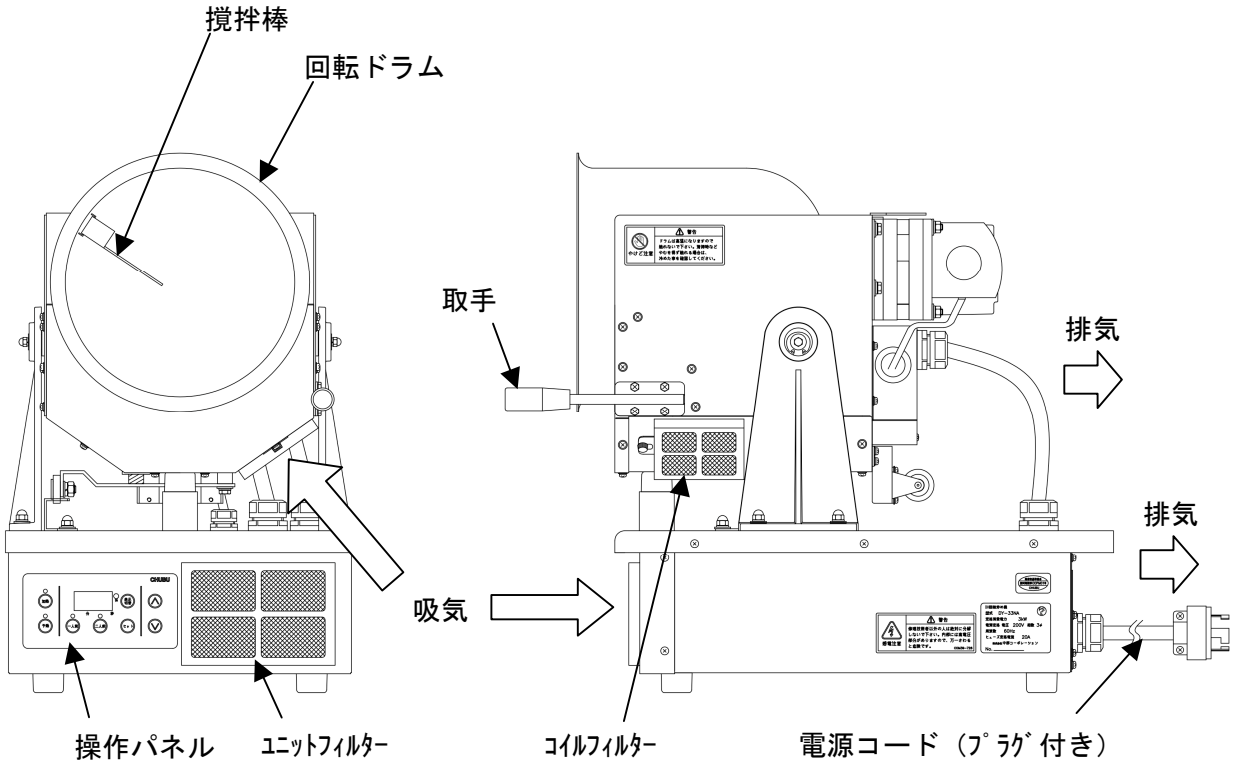
目次

1 各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2 安全のため必ず守って下さい・・・・・ 2
3 設置および使用前の準備・・・・・・・・・ 6
4 使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
5 日常の点検とお手入れの方法・・・・ 10
6 消耗品の紹介 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
7 故障の見分け方と処置方法・・・・・・ 12
8 仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
9 保証とｱﾌﾀｰｻｰﾋﾞｽについて・・・・・・・ 13

株式会社 中部コーポレーション

1　各部の名称





付属品

- 取扱説明書
- フィルター予備
- しゃもじ

2　安全のため必ず守って下さい

●ご使用になる前に、この「安全のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。
●表示と意味は次のようになっています。

⚠	**警告**	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
⚠	**注意**	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。＊

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

⚠ 注　意	△は注意（危険・警告を含む）を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。
分解禁止	⃠ は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⃠ の中や近くに絵や文章で示します。
プラグを抜く	● は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、● の中や近くに絵や文章で示します。

⚠ 警　告

●お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること
もし、損傷があれば運送会社へ損傷の状況を（梱包の箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガ等の原因となります。

損傷確認

●アース工事を必ず行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
（電気工事業者によるＤ種設置工事が必要です。）

アース工事

●絶縁試験（メガーテスト）をしないこと

メガーテストを行うと、製品の故障の原因となります。

禁　止

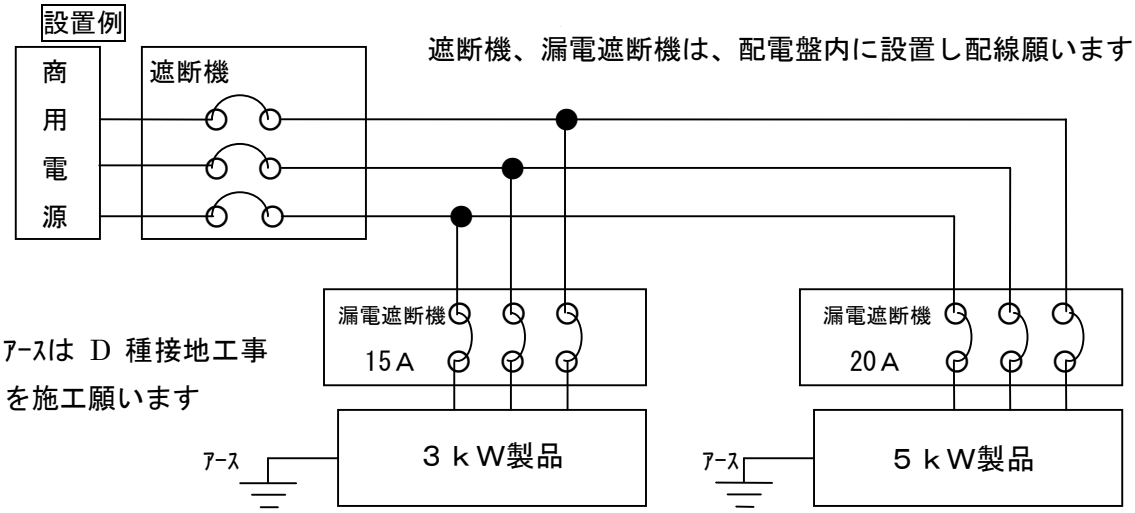
●本製品の１台につき１個の高周波対応漏電遮断機（地絡過負荷・短絡保護兼用形）感度電流 30mA を以下のように設置すること

３ｋWの製品については定格１５Ａ以上の漏電遮断機を５ｋWの製品については定格２０Ａ以上の漏電遮断機を以下の結線図のように設置をして下さい。

漏電遮断機設置

設置例

遮断機、漏電遮断機は、配電盤内に設置し配線願います



●電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因となります。（電源を入れる前に供給されている電圧が装置の規格と合っているか確認して下さい。）

専用電源

●屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因となります。

屋外禁止

●本機は業務用ですので子供だけで使わせないでください

感電、ケガの原因となります。

禁　止

●電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると電源コードが破損し、感電、火災の原因となります。

禁　止

●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと
ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電、火災の原因となります。

点検掃除

●濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、操作をしないこと
感電、ケガの原因となります。

濡手禁止

●異常時は、運転を停止し電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること
異常のまま運転を続けると感電、火災の原因となります。

プラグを抜く

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと
異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因となります。

分解禁止

●使用中の回転ドラムは熱くなっていますので手を触れないこと
使用後も、しばらくの間は回転ドラムが熱くなっていますので、手を触れないでください。火傷をすることがあります。

接触禁止

●連続運転をしないこと
タイマー運転を繰り返し連続で行うと、回転ドラムが高温になり、火災、やけどの原因となります。

禁　止

●セラミックプレートに衝撃を加えないこと
セラミックプレートは衝撃を加えると割れます。
セラミックプレートにひびが入ったり、割れた場合は販売店に連絡して下さい。
有償にて修理を致します。そのままでの使用は絶対にしないでください。
異常動作や感電の原因となります。

禁　止

●水、油等の液体につけたり、かけないでください。
感電、ショート、発火など故障の原因となります。
また、ふきこぼれ等の場合は加熱を停止し、拭き取って下さい。
高温（200℃以上）の油などの飛散によってｾﾗﾐｯｸﾌﾟﾚｰﾄの接着が損傷し、
それによって製品の故障の原因となります。

禁　止

●心臓用のペースメーカーをご使用の方は、使用に注意してください。
心臓用のペースメーカーをご使用の方は、専門医師とよく相談の上、影響のないことを確かめてからご使用ください。

注 意

⚠ 注　意

●丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因となることがあります。

水平設置

●長時間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜くこと。
あるいは元電源を切ること
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因となることがあります。

プラグを抜く

●廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること
放置しますとケガの原因となることがあります。

専門業者

●排気口をふさがないこと
排気口のすぐ側にものを置くと内部の温度が高くなり、保護装置が作動して加熱が停止されますが、電気部品が故障する場合があります。

禁 止

●回転ドラムを装着させてから運転すること
回転ドラムを装着させずに加熱しますと、保護装置が作動して加熱が停止されｎＰが表示されます。ｎＰを解除するには、加熱キーを押して下さい。

注 意

●磁気製品を近づけないでください
磁気製品を近づけるとそれが壊れる場合があります。

注 意

3　設置および使用前の準備

●丈夫で平らな所に水平になるように設置してください

本機は、正しく作動するために、水平な場所に設置してください。

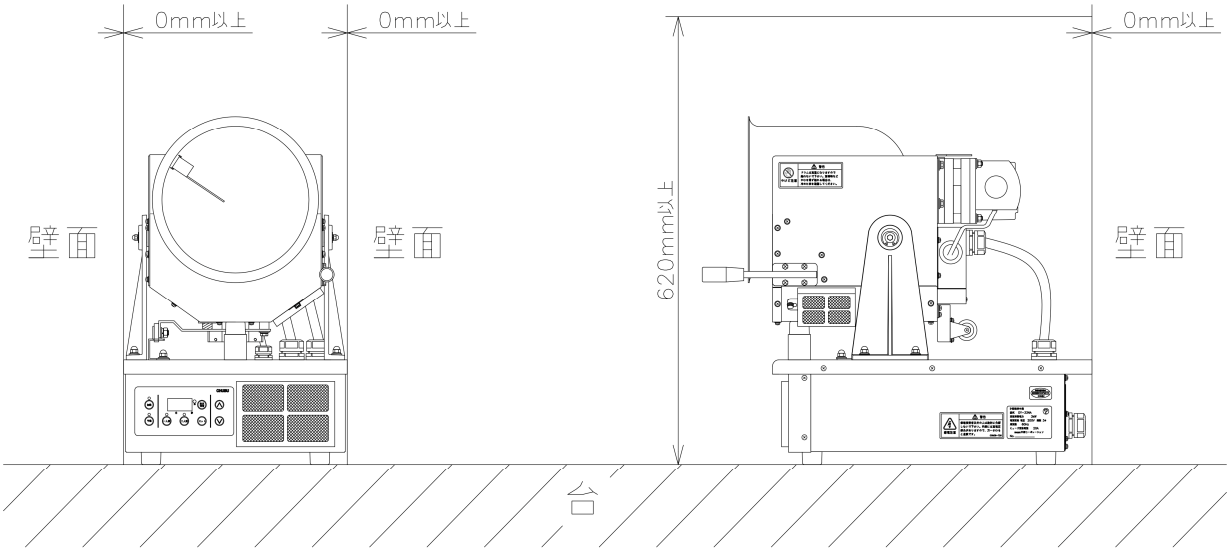
●本機に水がかかる恐れがある付近には設置しないでください

電機部品に水がかかって火災・漏電・感電の原因となることがあります。

●電源は規格の電圧のものを使用してください

電源を入れる前に供給されている電圧が装置の規格と合っているか確認してください。

設置要領図

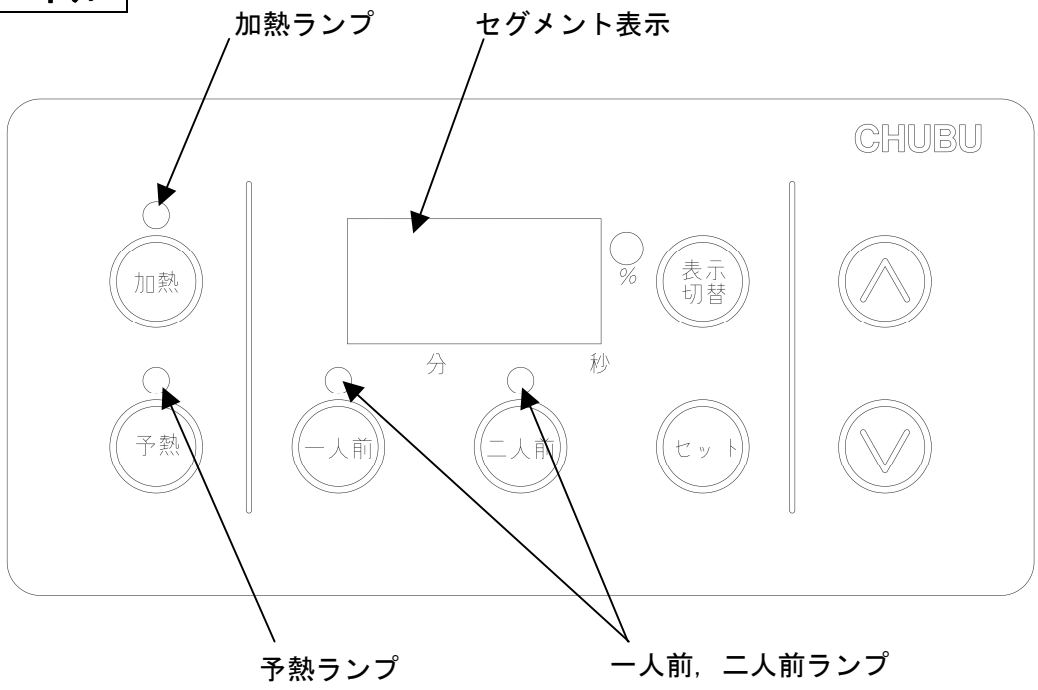


※ただし、加熱機器と隣り合わせ（左右前後）で設置する場合は、

５０mm以上のスペースをあけること。

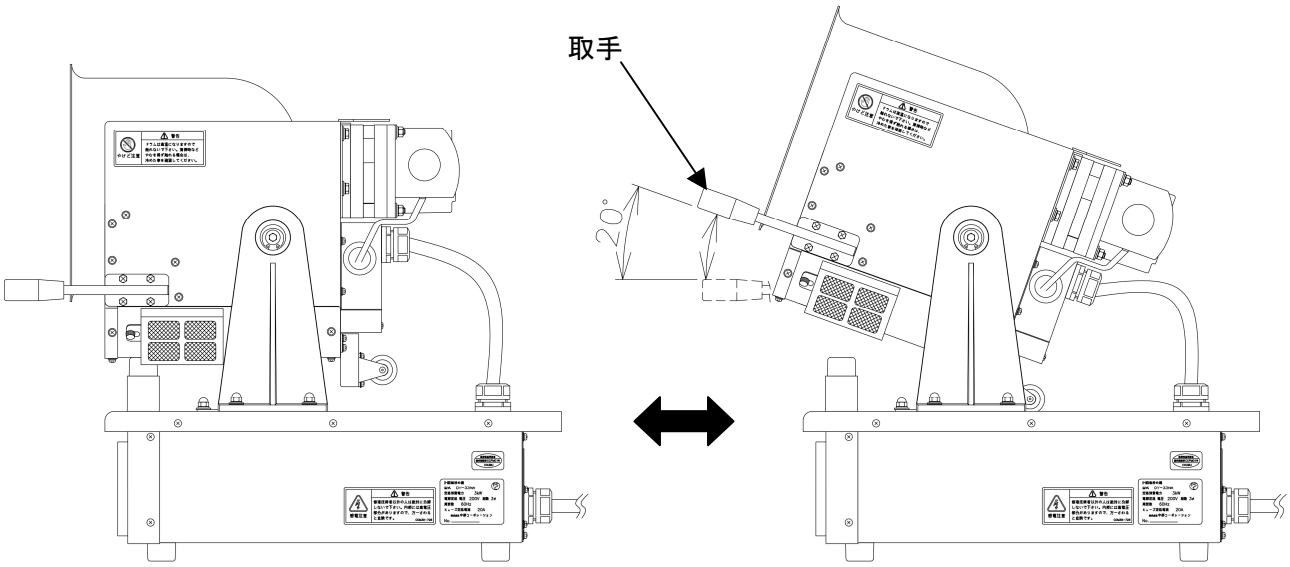
4　使用方法

タッチパネル



加熱	加熱ＯＮ・ＯＦＦスイッチ　運転時、ランプが点灯する 予熱ＯＦＦスイッチ 警報表示時の解除スイッチ
予熱	予熱ＯＮスイッチ　運転時、ランプが点灯する
一人前　二人前	一人前（二人前）タイマー運転をするときのスイッチ 運転中は、ランプが点滅する
表示 切替	セグメント表示の表示切り替えスイッチ
∧　∨	一人前（二人前）タイマー運転の設定値を変える上下スイッチ
ｾｯﾄ	一人前（二人前）タイマー運転の設定をするときの決定スイッチ フィルター清掃警報「ＦＩＬ」の解除スイッチ

本体上部可動方法



運転方法

一人前（二人前）タイマー運転

(1)回転ドラムを装着させる（奥まではめ込み、引っ掛けによりロックさせる）。
(2)電源を入れる。
(3)加熱停止の状態を確認して、一人前（二人前）ｽｲｯﾁを押す（P1（P2）と表示される）。
(4)取手を使い、回転ドラムを斜めにする。
(5)予熱ｽｲｯﾁを押すと、予熱運転（加熱）が開始される。
　予熱運転途中で、予熱運転を終了したい時は、加熱ｽｲｯﾁを押してください。
(6)具材を投入する。
(7)加熱ｽｲｯﾁを押すと、一人前（二人前）運転（加熱）が開始される。
　表示切替ｽｲｯﾁを押すと、ｾｸﾞﾒﾝﾄの表示が　ﾀｲﾏｰ時間 ⇒ ﾊﾟﾜｰ
　設定値の表示に変わります。
　運転途中で、加熱を終了したい時は、再度加熱ｽｲｯﾁを押してください。
(8)ブザーが鳴り、一人前（二人前）運転が完了し、加熱を停止します。
(9)取手を使い、回転ドラムを水平にする。
(10)具材を取り出す。
(11)回転ドラムを斜めにする。
(12)(6)～(11)を繰り返す（回転ドラムが冷えている場合は(5)から行う）。

一人前（二人前）タイマー運転設定

(1)セットｽｲｯﾁ＋一人前（二人前）ｽｲｯﾁを同時に長押しする。L1 が表示され、セットｽｲｯﾁを押す。
(2)ﾊﾟﾜｰの値を△、▽ｽｲｯﾁにて変更する。
　ﾊﾟﾜｰは 0～100 まで入力できます。
(3)セットｽｲｯﾁを押してﾊﾟﾜｰの値を決定する。
(4)分の値を△、▽ｽｲｯﾁにて変更する。
　分は 0～9 まで入力できます。
(5)セットｽｲｯﾁを押して分の値を決定する。
(6)秒の値を△、▽ｽｲｯﾁにて変更する。
　秒は 0～59 まで入力できます。
(7)セットｽｲｯﾁを押して秒の値を決定する。

予熱機能設定

(1)セットｽｲｯﾁ+予熱ｽｲｯﾁを同時に長押しする。
(2)L0 が表示される（注：L0 は本製品では使用しませんので(3)にてスキップさせます）。
(3)L0 表示→セット押す→0 表示→セット押す→0 表示→セット押す→00 表示→セット押す。
(4)L1 が表示される。
(5)セットｽｲｯﾁを押す。
(6)予熱パワーの値を△、▽ｽｲｯﾁにて変更する。
　設定値(%)は 0～100 まで入力できます。
(7)セットｽｲｯﾁを押して予熱パワーの値を決定する。
(8)予熱時間（分）の値を△、▽ｽｲｯﾁにて変更する。
　予熱時間（分）は 0～9 まで入力できます。
(9)セットｽｲｯﾁを押して予熱時間（分）の値を決定する。
(10)予熱時間（秒）の値を△、▽ｽｲｯﾁにて変更する。
　予熱時間（秒）は 0～59 まで入力できます。
(11)セットｽｲｯﾁを押して予熱時間（秒）の値を決定する。
(12)L2 が表示される。
(13)セットｽｲｯﾁを押す。
(14)保温パワーの値を△、▽ｽｲｯﾁにて変更する。
　設定値(%)は 0～100 まで入力できます。
　ただし、30%以上のパワーに設定すると、回転ドラム及びコイルが高温と
　なり危険ですので、必ず 30%以下に設定しておいて下さい。
(15)セットｽｲｯﾁを押して保温パワーの値を決定する。
(16)保温時間（分）の値を△、▽ｽｲｯﾁにて変更する。
　保温時間（分）は 0～59 まで入力できます。
(17)セットｽｲｯﾁを押して予熱時間（分）の値を決定する。
(18)セットｽｲｯﾁを押す。

5　日常の点検とお手入れの方法

１．フィルターの清掃（ユニット及びコイルの２ヶ所あります）

前面ユニットフィルター

(1)電源を切り（漏電遮断機を「ＯＦＦ」にします)、機器が十分に冷えている事を確認して下さい。

(2)前面パネルのフィルターカバーを上部にスライドさせ、手前に引き抜いて下さい。

(3)フィルターカバーよりフィルターを外し、中性洗剤で浸け置き洗いをして下さい。

(4)自然乾燥させた後、組付けて下さい。

上部コイルフィルター

(1)電源を切り（漏電遮断機を「ＯＦＦ」にします)、機器が十分に冷えている事を確認して下さい。

(2)ユリアねじ（化粧ねじ）を外し、フィルターカバーをスライドさせ、引き抜いて下さい。

(3)フィルターカバーよりフィルターを外し、中性洗剤で浸け置き洗いをして下さい。

(4)自然乾燥させた後、組付けて下さい。

注　意

フィルターの手入れは１週間に１回、又は清掃時期お知らせサイン**「ＦＩＬ」**が表示されたら行って下さい。清掃時期お知らせサインは、フィルター清掃後、**「セット」スイッチ**にてリセットして下さい。

使用環境が悪い場合や使用頻度が多い場合は、手入れの回数を増やして下さい。

フィルターの無い状態や、フィルターが目詰まりした状態で運転をしないで下さい。

電気部品の故障の原因となります。

２．セラミックプレートの手入れ

セラミックプレート上が汚れた場合、濡れふきんなどで汚れを拭き取って下さい。

注　意

セラミックプレートは常に汚れの無い状態で使用して下さい。

セラミックプレートに付着物が付いた状態で使用を続けると、汚れがこびり付き、回転ドラムの回転を妨げ、故障の原因となります。

6　消耗品の紹介

１．フィルター

通常は６ヶ月（使用状況により異なります)、又はフィルターの目詰まりが取れなくなったら、販売店より新品を購入し、交換してください。

フィルターが目詰まりした状態で運転を行いますと、保護装置が働き、警報ブザーと共に運転が停止します。

２．セラミックプレート

セラミックプレートは、衝撃・空焚き等により劣化します。

劣化時期は、使用状況により異なります。

ひび割れ・破損等劣化が発生した場合は、直ちに使用を中止し、新品と交換してください。

交換作業は、作業専門者が行う必要がありますので販売店に連絡してください。

３．冷却用ファンモーター

通常は３年を目安として新品と交換してください。

交換作業は、作業専門者が行う必要がありますので販売店に連絡してください。

7　故障の見分け方と処置方法

以下の処置方法を行っても直らない場合や、以下以外の症状が発生した場合は、漏電遮断機を遮断し、販売店に連絡をしてください。１年以内であれば無償、それ以降は有償にて修理いたします。

症状	原因	処置方法
表示窓に何も表示されない	電源コードが外れています。	電源コードを正しく接続して下さい。
	漏電遮断器がＯＦＦになっています。	漏電遮断器をＯＮにして下さい。
表示窓に、 ＯＨと表示され 加熱が停止した	本製品内部の冷却フィンが 異常に温度上昇しました。	通常の温度に下がるまで（「加熱」スイッチを押して解除されるまで）加熱をしないで下さい。また、フィルターが目詰まりしている可能性がありますのでフィルターを清掃して下さい。
表示窓に、 ＣＨと表示され 加熱が停止した	本製品内部の加熱用コイルが 異常に温度上昇しました。	通常の温度に下がるまで（「加熱」スイッチを押して解除されるまで）加熱をしないで下さい。また、フィルターが目詰まりしている可能性がありますのでフィルターを清掃して下さい。
表示窓に、 ＬＵと表示され 加熱が停止した	機器に必要な電圧が低い。	正しい電源を使用してください。
	瞬時停電が発生しました。	「加熱」スイッチを押すと解除されます。
表示窓に、 ｎＰと表示され 加熱が停止した	回転ドラムが装着されていない。	「加熱」スイッチを押すと解除されます。 回転ドラムを装着し、運転を開始して下さい。
表示窓に、 Ｅｒ１と表示され 加熱が停止した	本製品内部のＣＰＵメモリーに 異常が発生しました。	漏電遮断器をＯＦＦにし再度ＯＮにして、 電源を再投入してください。
表示窓に、 Ｅｒ２と表示され 加熱が停止した	本製品内部のＣＰＵに 異常が発生しました。	
表示窓に、ＦＩＬと表示された	フィルター清掃警報が出ました。 （１００時間毎に表示）	フィルターを清掃して下さい。 ・「ｾｯﾄ」以外のスイッチを押すと通常表示となり、１分後に再びＦＩＬ点滅（警報一時解除） ・「ｾｯﾄ」スイッチを押すとブザー音が鳴り、解除されます。
本体のケースに触るとピリピリと不快な感触がある	本体にアース線が接続されていない。	本体にアース線を接続して下さい。
	本体に接続されているアース線が 断線している。	本体に接続されているアース線の点検を 専門業者に依頼して下さい。
加熱中に突然停止し再加熱できない	本体の故障	販売店へ連絡して下さい。 １年以内であれば無償、それ以降は有償にて修理いたします。
	タッチパネルの故障	

8　仕様

型式	外形寸法 （幅×奥行×高さ）	定格電源	定格消費電力	質量
DY-33NA	350×500×544mm	AC200V , 3相 , 60Hz	3kW±10%	33kg
DY-33PA		AC200V , 3相 , 50Hz		

9　保証とｱﾌﾀｰｻｰﾋﾞｽについて

保証期間は、本体お買い上げ日から１年間です。

保証期間中は、保証書の規定に従って、無償修理させていただきます。
保証期間後は、診断して修理できる場合、ご要望により、有料で修理させていただきます。
有料修理につきましては、修理費用は、事前に見積金額として提示させていただきます。
修理費用は、技術料＋部品代＋出張料（運送費）で構成されております。
保証期間１年を経過した商品の修理後の保証につきましては、修理箇所についての保証のみで、修理品お届け後６ヶ月です。修理箇所以外で発生した故障につきましては、有料の修理となります。
保証期間後、予防保全の観点から、当社にオーバーホール定期点検の依頼がある場合、当社は、有料でオーバーホール定期点検を実施いたします。オーバーホールの依頼を受け、当社で定期点検修理を実施した商品につきましては、定期点検実施後、６ヶ月の保証をいたします。

保証期間中においても、有料修理となる例

① 外力による破損（セラミックプレートの破損、等）
② 製品の設置環境が仕様に記載された条件を逸脱して、使用されている。
③ 電源系統に落雷、電気工事などで、異常電圧が発生し故障した痕跡のある場合。
④ フィルターの目詰まりによる異常の履歴がある場合（故障履歴が記録されます）
⑤ 高温（２００℃以上）の油などの飛散によるセラミックプレート接着材の損傷による故障
⑥ 製品の内部に水などの浸入が認められる場合

交換部品

部品名	標準交換時期	交換方法
フィルター	６ヶ月又は目詰まり発生時	新品と交換
セラミックプレート	劣化発生時	新品と交換
冷却用ファンモーター	３年	調査の上交換
加熱コイル	５年	調査の上交換
ヒューズ	１０年	新品と交換